岐阜市の一体的実施

平成24年4月2日事業開始

市とハローワークが連携して、市役所福祉事務所生活福祉課内の
はたらき支援ルームにて職業紹介等を実施。



市	国
市役所庁舎内の提供	職業紹介・職業相談の実施等

① 事業内容

・就職支援ナビゲーターより、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームで生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談や職業紹介を実施

② 協定・事業計画

・岐阜市長と岐阜労働局長の間で協定(＊)を締結

・数値目標を盛り込んだ事業計画を岐阜市と岐阜労働局の間で策定

＊ 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定。

この協定の締結により、生活困窮者の早期就職に向けた就労支援の強化・充実が図られ、自立への支援の一層の強化と利便性向上を実施。

（1） 実施体制

岐阜市	国（ハローワーク岐阜）
・ 面接相談員、就労支援員、キャリアカウンセラー、ケースワーカーを配置	・就職支援ナビゲーター2名を配置 ・求人情報提供用のパソコン1台を配置

（2） 事業目標と取組状況（8年度）

事業内容	事業目標（年度）	取組状況 （令和8年9月末時点）
生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談、職業紹介等の実施	利用者数 2，000名 支援対象者数 180名 就職者数 256名 就職率 41．3% （参考）前年度目標 ・利用者数 2，000名 ・支援対象者数 180名 ・就職者数 231名 ・就職率 41．3%	利用者数 541名 支援対象者数 67名 就職者数 91名 就職率 19．4% （参考）前年同月実績 ・利用者数 923名 ・支援対象者数 91名 ・就職者数 127名 ・就職率 19．8%

一体的実施事業（岐阜市）による就職成功例

男性：５０代　・希望職種：配送　製造

① 求職者の課題
２０年以上無就労。親の死去により生活保護受給。就職できない理由を社会や会社、他者のせいする傾向が見られる。

②　紹介の経過
製造職を希望するが専門的な求人が多くスキルが不足。提供する求人に対して否定的な発言が目立つ。警備なら採用されると思い応募するも不採用となり会社への不信感をあらわにした。何十年も前に経験したことが基準となり、そこから外れることは否定し受け入れられない。当窓口以外のHWにも毎日のように通うことが日課だと話す。求職活動表押印のためではなく就職のための職業相談であることを話し、２０年以上無就労で就労に自信がなく人との関わりに不安が見られ、ワークダイバーシティの活用も提案。一般就労を強く望まれ、再度現在の求人状況と条件緩和の必要性を丁寧に説明、現状を理解。短時間でも継続して働くことを目標に求人条件の見直しを行った。希望条件の優先順位付けを行い、無理のない通勤方法・距離・時間、就業場所、業務内容等具体的にして求人を選定。軽作業で高齢者歓迎との記載に「これならできそう」と前向きな発言があり、紹介に至った。

③ 結果　紹介就職　パート　花の加工作業

④ 職業相談員の所感
生活保護受給前からHWを利用していたが相談のみ。就労支援参加以降も当窓口相談以外にHWへ頻繁に出かけるも、退職に至った原因や、面接時の担当者の対応について不満を延々と話すことが多い。求人の応募に消極的な理由は求人票の記載内容に関する会社への不信感だが、長期無就労と過去の職場のいじめや不採用の経験、成功体験の少なさから就労への不安を強く持っているように感じた。実際に不採用になった時には担当者だけでなく社屋や駐車されていた車に対しても批判をし、自身の面接の振り返りや反省はない。今回短時間の採用であったが、長時間へ変更となり生活保護廃止となった。当初生活保護廃止は望んでいなかったが外国人が多い職場で働きを認められていると感じられたことが継続につながっているようだ。

⑤ 本人のコメント
・業務は難しくない。体力的にきついが外国の人がほとんどの中で頼りにされている。フルタイムに近い時間で働くことができている。